



積算コストについて

何故 プラン作成料金（内金）をお預かりさせていただいているか？

弊社では、お客様より工事をお任せいただける意思の確認が頂ければ、より綿密に、多くの時間を有効に使わせて頂きたいと率直に考えております。

プランニング作業においては当然、「時間的コスト」「人力的コスト」等の積算調査コストというものが発生致します。それは、現場調査を行う各職人のコスト・見積書作成に掛かるコスト・そして、それらに対して掛かる設備・経費コストといった様に、全てに対してコストというものが発生致します。これらはお客様の財産であるお家のリフォームを成功させる為に、必要不可欠な最低限のコストという事になります。それは、どの業者様でも必ず発生致しております。

一般的な工務店等の工事成約率は 20%前後と言われております。5 件に 1 件は成約に至っておりますが、残りの 4 件は成約に至っていないという事になります。

では、その 4 件分に積算コストがゼロかといえば、絶対にゼロという事はございません。何故ならそこには少なからず人件費や見積作成コストというものが発生しております。

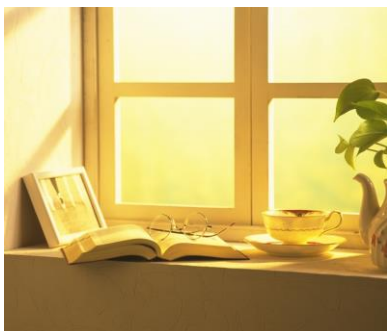
例えば、

1 人の人件費が¥10,000-に対して積算にトータル 1 週間の時間を要した場合の人件費¥70,0000-が必ず発生している事になります。それを成約に至らなかった 4 件があるとすれば、単純な計算で、¥280,000-のコスト全てとは言いませんが、成約した各お客様に分散して含まれている事は間違いありません。

御見積の書面上には決して記載されませんが、「御見積無料」と一見良心的に聞こえても実際にコストが発生している以上、誰かが必ず負担しているという現状がほとんどです。

弊社では、各現場で掛かったコストであれば、その各現場のお客様がご負担するのが本筋だと考えております。

以上の理由から、弊社ではプランニングさせて頂く各お客様より、プラン作成料金を適正にお預かりさせて頂いております。



株式会社 トータル・サービス